

平安書道会事務局だより

平成二十四年正月

今年もまたはじまりました。

昨年は大きな災害がありました。力を出し合って乗り切っていききたいものです。

平安書道会の昨年の主な行事を紹介します

総会 一月二十三日 ハートンホテルにて開催、総会の後の記念講演では、京都国立博物館研究員の羽田聡先生に、同館で開催中の「筆墨精神」を紹介していただきました。

春の研修会 続く二月六日には、京都国立博物館を訪れ、館所蔵の書画一級品を見学しました。

第九十一回平安書道会公募展

七月二十一日から二十四日、京都市美術館で開催されました。今回は同館でフェルメール展が開催中であつたため外国人などの見学者の幅を広げていたような気がします。

今年も多くの方が特別賞を授与されました。

特別賞を受賞された方から、何人かご紹介したいと思います。



毎日新聞受賞者の堀琴乃さんは、小松市国府小学校六年生。選んだ字が「堅忍不拔」。難しくありますが「けんになふぼつ」と読みます。言葉はお母様が選ばれたそうで、大相撲の若花田が横綱になったときに使つて有名になりました。「どんなことがあつても心を動かさず、じつと我慢して堪え忍ぶこと」という意味です。彼女は学校でもバトミントン部に所属し、部活動をしつかりやつた後に、書のお稽古に通い作品作りをしたそうです。その努力と活力を審査員に認められ、昨年に続き特別賞を受



賞という快挙をなすとげられました。バトミントンの腕前も石川県の代表選手に選ばれた程なのです。中学校に行ってもぜひ両立して続けてください。

第九十一回 平安書道会書道公募展 特別賞受賞者	
平安特別大賞	太田富美
平安大賞	林丹霽
平安準大賞	桶谷美峰
奨励賞	藤伊道子 桶谷哲也 山上秀子
京都府知事賞	多保田真歩 大井映絵子
京都市市長賞	東志小美 椿下依舞 北帆夏
京都府教育委員会賞	山本千尋
京都市教育委員会賞	小酒友悠 津田智貴 吉田歩未
京都府商工会議所賞	中西大輔 西出真唯 長田千尋 西村彩
平安書道会会長賞	黒田幸子
神田喜一郎賞	加藤輝雄
吉澤義則賞	北出円佳
綾村垣園賞	塚原正治
朝日新聞社賞	山口慧石
毎日新聞社賞	伊藤知子 北菜月 堀琴乃
京都新聞社賞	吉岡真知子 岡田真華 副島和泰
読売新聞社賞	澤崎康子 藤井日和 天山真優
京都新聞開発(株)賞	山本千晴 山本文歌 副島奏海 吉田ほのか
芸術新聞社賞	長崎由莉 河野雅子 副島奏海
京都銀行頭取賞	市橋春希 北百香 高井ひかり 永井沙也加
呉竹賞	番場蓮 小田ひびき 東富士子 中田優香
墨運堂賞	中木戸優那 国本理沙 大田賢人 山下あき枝
ユネスコ会長賞	細谷基生那 伊舟城あかり 大田賢人 山下あき枝
	植田将英 太田かれん 大城香乃 榊森来実
	川本愛里 野口微風子 武田直之 西垣萌衣

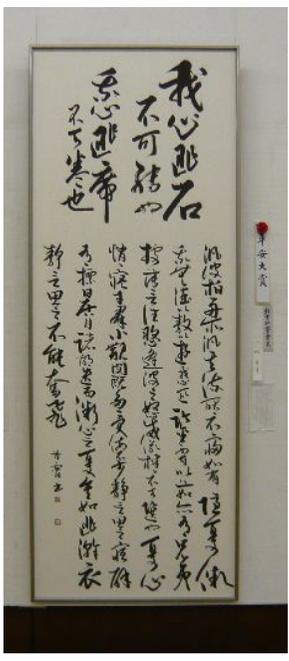
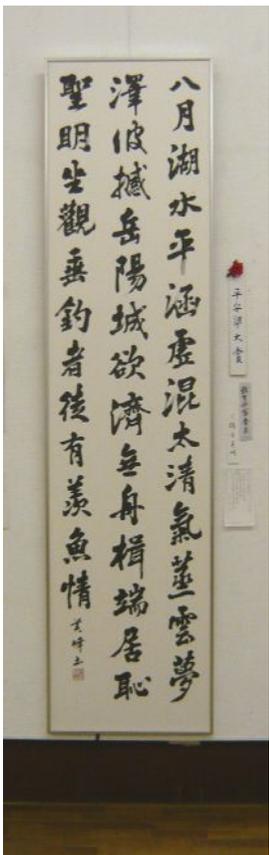
亀田遙さんは、小松市立中海中学校の三年生。学校では吹奏楽部員でもあります。受験勉強もしっかりこなし、授業のあとには部活動の練習、帰宅して夕食を食べてから、西田紫山先生のお稽



古に通うというがんばりで、京都府知事賞という大賞をみごと受賞されました。「格物致知」という言葉は、西田先生と決めたそうです。物事の道理や本質を深く追求して理解し、知識や学問を深めるという意味で、『大学』という中国の古い書物に出てくることばです。今度は受験ですね。そのフアイトで乗り切り、今年は高校生としての作品をぜひ見せてください。

平安大賞に選ばれたのは林丹霄さん。「詩経」の一節を書いたの受賞です。受賞のお祝いの席に出席した林さんは、その日が誕生日ということで、会場が沸きました。

さて、平安書道会には、ご夫婦で会員の方がたくさんいらつしやいます。しかし、その長い歴史の中でも同時に受賞というのは珍しいことでしょう。今回みごとに夫婦ダブル受賞に輝いたのは、桶谷美峰さんと桶谷哲也さんです。美峰さんは平安準大賞、哲也さんは奨励賞をそれぞれ受賞されました。



哲也さんは、篆刻で七年ぶりの受賞です。納得のいく作品を作っていききたいとのこと。おめでとございます。



先人追悼法要・筆供養

十一月二十三日 東福寺塔頭正覚庵

午前中に当書道会の追悼法要が、午後は古くなった筆に感謝する筆供養が行われました。毎年多くの書道関係の参拝客が訪れます。焚きあがる煙を浴びると、字が上達すると言われています。

第三十一回聚英展 十二月十四日〜十八日

京都文化博物館

今年は師走の展覧会になりました。平安書道会審査員の作品四十九点が並び、夏の公募展とはひと味違った展覧会でした。



訃報

会員 半田一真様

協賛会社 書遊社長隅田秀夫様

協賛会社 龍枝堂社長令夫人様

平成二十四年度総会・記念講演

今年一月二十九日 ハートンホテルにて開催されます。

記念講演会は、大谷敏夫先生による「包世臣とその時代」についてのお話です。中国清の時代に政治家として活躍した包世臣は書家としても有名です。当時の文人の生き方を知る機会にどうぞご参加ください。